

総合部会（第5回）の意見概要

日 時 : 平成27年10月22日(月) 午前10時～正午
場 所 : 茨城県薬剤師会館 3階大会議室
出席者 : 委員 16名ほか

1 政策展開の基本方向について

- ・若者の就労に関する数値目標を、目標2（活力あるいばらきづくり）の方で整理してほしい。
- ・災害に備えて、行政文書のバックアップ体制を充実してほしい。
- ・24 ページで「歴史館等のアーカイブ機能」とあるが、現代社会では、「デジタルアーカイブ」とするべき。

2 重点プロジェクトについて

○ 全般に係る事項

- ・取組について再掲をやり出すと色々関わっているのといっぱいになってしまう。その整理をお願いしたい。
- ・数値目標については、どう考えているか
→ 基本計画の指標を中心に検討していく。(事務局)
- ・本当に必要なものを書き込んだ方がわかりやすい。全部を入れるのではなく、取捨選択をしっかりとしてほしい。
- ・イメージアップについて、茨城は色々と全国上位のものがあるのだから、茨城ランキングのようなものをどこかに入れて、茨城に誇りを持てるようにしてはどうか。

○ P J 1 ストップ少子化・移住促進プロジェクト ～人口減少への挑戦～

- ・プロジェクト名で、若者を応援しているという感じをもう少し出したほうがいい。
- ・女性が妊娠・出産で離職するのは、職場の理解不足も大きい。職場環境の改善、理解の促進も入れてほしい。
- ・「核家族化」という言葉について、核家族率を指すのであれば、核家族率はずっと変わっていないので、これは正確な表現ではない。

○ P J 2 いきいき健康長寿社会創造プロジェクト

- ・健康長寿について、これまでは高齢者対策であったが、これからは、生まれたときからの予防、健康づくりが重要になってくる。

- ・「茨城型地域包括ケアシステムの推進」の項目について、「質の高い医療・介護サービス」となっているが、障害者の方やひとり親などになると、介護のみならず、福祉という大きなサービスになるので、ここは「介護」ではなくて、「福祉」としたほうがより正確。
- ・「人材の育成・確保」については、欲しがるばかりでなく、住民も若いお医者さんなどを支えるために、どうしたらいいかということ、議論していかなければいけない。

○ P J 3 みんなで守る暮らしの安全・安心プロジェクト

- ・災害時の備えとして、県と市町村間や近隣の市町村間で、具体的な連携の仕組みをつくるのが大切。また、ボランティアを効率的に活用する仕組みが必要。可能であれば、ハザードマップを改めて周知してほしい。
- ・原子力安全対策の充実について、項目立てして明記した方がよい。

○ P J 7 未来を創る産業イノベーション創出プロジェクト

- ・I o T時代に向けて、ものづくり・サービス産業等への先行的な対応といった視点を入れてほしい。
- ・中小企業についての記述が少ない。内容も身近に感じられないところがある。

○ P J 8 日本の農業をリードする新たな需要開拓プロジェクト・

- ・海外販路拡大は、アジア圏だけではなく、次の一手を見据え、北米やヨーロッパ市場の情報収集やマーケティングについても入れてほしい。

○ P J 10 観光おもてなし日本一プロジェクト

- ・本当におもてなし日本一を目指すのであれば、人を育てるようなソフト事業がもう少しあってもよい。
- ・インターネット環境について、つくばまでは高速であるが、そこから先が課題。県北地域を中心に基本的なインフラを整備する必要がある
- ・観光客に対する安全対策の強化も、おもてなしと同軸で打ち出した方がよい。
- ・インバウンドに対しては、レンタカーの使用環境や道案内の改善など二次交通をどうするか大切。
- ・ハード、インフラに重点が置かれており、おもてなしの内容につながない。

○ P J 11 魅力あふれる県北地域創造プロジェクト

- ・県北芸術祭は、大きなイベントであるので、観光のプロジェクトに入れてはどうか。
- ・県北芸術祭は、県北地域の振興の大切な機会であり、このプロジェクトに置いていただきたい。また、「文化」や「歴史」という言葉も一言付け加えてほしい。
- ・「IT環境の整備」の項目について、県北地域でITや新しい技術を、実験的なものを含めて取り組むということで、ワクワクするような言葉も少し入れていただきたい。

3 地域づくりの基本方向について

- ・ 県南にも消滅可能性を指摘されている自治体がある。その点は触れないのか。
→ 県南の消滅可能性都市についても問題意識を持っており、地方創生の総合戦略と併せて検討する。(事務局)
- ・ 県南は「玄関」、県央は「客間・居間」、鹿行は「キッチン」、県西は「仕事場」、県北は「ガーデン」という風に分けると地域毎の特色が見えてくるのでは。明確な切り口があった方が良い。
- ・ どこを見ても同じような書きぶりに見える。それぞれの特色を強く打ち出した方が良い。
- ・ 地域毎の特徴や目指す姿が少し弱い。地域特性について一語で語れる「キーワード」があると非常にわかりやすくなると思う。
- ・ 県北臨海の部分で、常磐線の強化を入れてほしい。地域に住んでいる人が夢を持てるような形で書いてもらえるとありがたい。
- ・ 「新しい『協働』」は良い言葉。これからの社会の新しい概念になる。
- ・ 「地域づくり」については、県民自らやらなければならないということを、明確に打ち出してもいいのではないか。
- ・ ゾーンを横断する取組で、茨城の景観について統一感やアイデンティティーを感じられるような取組を検討してほしい。

4 グランドデザインについて

- ・ みんなで一緒に頑張ろうというトーンを強く出してほしい。
- ・ グランドデザインのイメージ図にある「イノベーション」という言葉について、技術革新だけではなく、社会や地域、暮らしなどを大きく変えるということをきちんと明示した方が良い。
- ・ 首都圏が抱える課題を茨城が支えるという位置付けや、北関東3県の連携、首都機能移転候補地としてFITなど、広域的な部分も含めてデザインしてみてもどうか。

5 人口・経済の展望について

- ・ 経済の展望については、非常に予測が難しい中、希望的・推測的な展望になるのであれば、無理に入れなくてもいいのではないか。
- ・ 茨城県は相当の技術、科学力を持っているので、その点も含めて予測してはどうか。
- ・ 「このようになる」ではなく、「このように持っていく」という視点で予測した方が良いと思う。
- ・ 人口予測も複数パターンとしているので、経済予測も複数パターンとした方が良いのではないか。